

スカパーJSATグループ

2006年度決算概況と今後の事業展開

2007年5月11日

スカパーJSAT株式会社

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

<両社共通のリスク>

- ・当社グループのサービスに対する需要の低下のリスク
- ・当社グループの事業内容および事業に係わる法的規制等が、将来において改正または新たに制定された場合に当社グループの事業が制約を受けるリスク
- ・新規事業が予定どおりに展開できないまたは業績に貢献しないリスク
- ・通信技術のデジタル化に伴う画像や音声対応の圧縮技術の高度化、その他の通信、放送、衛星等に関わる技術革新の進展に伴う業績変動リスク
- ・今後、関連分野における戦略的提携もしくは他社との共同関係の構築が想定通りに展開できないまたは、実現できないリスク
- ・為替変動および金利変動等の経済的状況の変化に係るリスク及びそれらが当社グループの資金調達に影響するリスク

<主としてJSATの事業に関係するリスク>

- ・同社グループの主要顧客の利用水準の低下または業績変動に伴うリスク
- ・通信衛星が故障、機能低下または稼働停止するリスク
- ・衛星の打ち上げ失敗もしくは遅延または正確な軌道投入失敗のリスク
- ・予備衛星の効果的なバックアップ体制が構築できないリスク
- ・衛星の軌道位置および使用する周波数等に係る国際間調整が遅延した場合または不調に終わった場合に当社グループの事業を予定どおりに展開できないリスク
- ・将来の通信衛星の調達に係るコストが、衛星の仕様、為替レート、保険マーケットの状況等により予定した支出額を超過する可能性があること
- ・経済的に見合うまたは付保が必要な事故を全て対象とする保険を得られないリスク
- ・国際的な事業提携が実現しないまたは予定どおりの成果を生まないリスク
- ・重要な子会社・関連会社の事業に関し、米国にて展開する事業が米国市場における受注が想定通りに得られないこと等によって当社の想定どおりの結果を産み出さない可能性があること
- ・日本国内および欧米ならびにアジア地域における競争激化が当社グループの財政状態および業績に影響を及ぼすリスク

<主としてスカイパーフェクTVの事業に関係するリスク>

- ・同社の事業領域をとりまく経済情勢、特に消費動向に関連するリスク
- ・放送法、通信法等の法制度における変化、特に当社の業務に対する規制または規制の提案が行われた場合や、競合する事業者が新規に事業参入した場合のリスク
- ・デジタル技術分野で顕著な急速な技術革新、また放送ビジネスで顕著な主観的で変わりやすい顧客嗜好等を背景とする激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる番組やサービスを当社が開発し継続的に提供していく能力に関するリスク

2006年度グループ決算概況

2006年度 グループ連結損益概要



(単位:百万円)

	JSAT	スカイパーフェクTV	連結調整	グループ連結* (みなし連結)
営業収益	38,770	85,422	7,240	116,951
営業費用	28,171	82,996	6,735	104,431
営業利益	10,599	2,425	505	12,519
経常利益	10,607	2,761	451	12,916
当期純利益	6,260	1,311	813	4,135
1株当たり当期純利益(円)	17,639.95	609.22	-	1,209.20
1株当たり配当金(円)	6,000	750	-	-

*1 連結納税を採用した前提での税金計算・税効果は考慮していません。

*2 のれんの額は考慮しておりますが、時価評価調整前の概算であり、償却期間は暫定です。

*3 1株あたり当期純利益は、持株会社期首株式数から自己株式相当分を控除した株数で試算したものです。

EBITDA	20,894	7,500
EBITDAマージン	53.9%	8.8%

[スカイパーフェクTV: サービス関連指標]

視聴料等取扱高(百万円)	141,319	個人解約率(%)	10.2%
新規個人契約件数(千件)	457	個人契約純増(千件)	93

2006年度 サービス別連結営業収益内訳



(単位:百万円)

JSAT	2006年度	構成比	2005年度
ネットワーク関連サービス	12,523	32.3%	16,076
映像関連サービス	25,759	66.4%	27,152
その他	488	1.3%	723
営業収益合計	38,770	100.0%	43,952

スカパーフェクTV	2006年度	構成比	2005年度
顧客管理業務及びデジタル放送普及促進業務	52,192	61.1%	50,588
放送番組送出関連業務	9,206	10.8%	9,073
その他プラットフォーム業務	24,022	28.1%	22,667
営業収益合計	85,422	100.0%	82,329

2006年度 JSAT連結業績



(単位:百万円)

名称	単体	JSAT International Inc.	衛星ネットワーク	その他/ 連結調整等	連結
事業内容		衛星通信回線等の販売等	衛星通信回線の再販等		
保有割合 (%)	-	100.0%	92.0%	-	-
営業収益 (売上)	34,654	1,625	4,280	1,789	38,770
営業利益	9,501	778	316	4	10,599
経常利益	10,011	706	316	426	10,607
当期純利益	4,991	592	177	500	6,260

*1 JSAT International Inc. (JII)の数値は、1月～12月の期間のもので、JIIの業績は、持分法適用関連会社Horizons Satellite Holdings LLCの業績を含んでいます。

*2 その他の持分法適用関連会社スカパー・マーケティング、ペイ・パー・ビュー・ジャパンの数値については、スカイパーフェクTVの連結業績のページを参照ください。(スライド番号:6)

2006年度 スカイパーフェクトTV連結業績



(単位:百万円)

名称	単体	DNCC	スカパー・マーケティング	サムライティービー	ペイパー・ビュー・ジャパン	オプティキャスト	ケーブルテレビ足立	スカパー・ウェルシンク	その他/連結調整等	連結
事業内容		顧客管理事業	受信機供給事業	放送事業	放送事業	役務利用放送事業	ケーブルテレビ事業	コンテンツ開発・投資事業	-	
保有割合		51.0%	51.0%	80.3%	65.0%	100.0%	77.3%	100.0%	-	
営業収益(売上)	75,875	16,758	3,390	1,148	14,136	1,688	3,200	599	31,372	85,422
経常利益	9,056	802	938	89	334	4,879	391	732	1,184	2,761
当期純利益	2,413	789	938	102	113	3,902	190	733	858	1,311

*1 その他の連結対象子会社は、スカパー・モバイル、インフォメーションネットワーク郡山、CSナウ等まだ連結損益への影響の少ないものです(計14社)。

*2 持分法適用会社は、(株)システム・クリエイト、(株)ジェイ・スポーツ・ブロードキャスティング、日活(株)他(計11社)。

2006年度 連結貸借対照表概要



(単位:百万円)

	JSAT	スカイパーフェクTV
流動資産	22,433	66,414
固定資産	141,036	55,228
資産合計	163,470	121,642
流動負債	15,884	31,101
固定負債	60,772	3,201
負債合計	76,656	34,302
資本金	53,769	50,083
資本剰余金	21,260	43,922
利益剰余金	10,947	1,691
自己株式	391	9,797
株主資本合計	85,585	85,900
評価・換算差額等	1,017	2,251
新株予約権	9	5
少数株主持分	200	3,685
純資産合計	86,813	87,340
負債純資産合計	163,470	121,642

2006年度 連結キャッシュ・フロー



(単位:百万円)

	JSAT	スカイパーフェクトTV
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,070	8,755
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,568	7,977
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,076	1,899
換算差額	2	0
現金及び現金同等物の増加額	428	1,122
現金及び現金同等物の期首残高	3,966	40,310
現金及び現金同等物の期末残高	4,394	39,188

JSAT その他指標

主要な設備投資:
 ・衛星調達関連 16,784百万円
 主要な事業関連投資:
 ・Horizons-2 5,617百万円
 2006年度末の借入金残高:
 ・63,361百万円(前期末 約67億円減少)

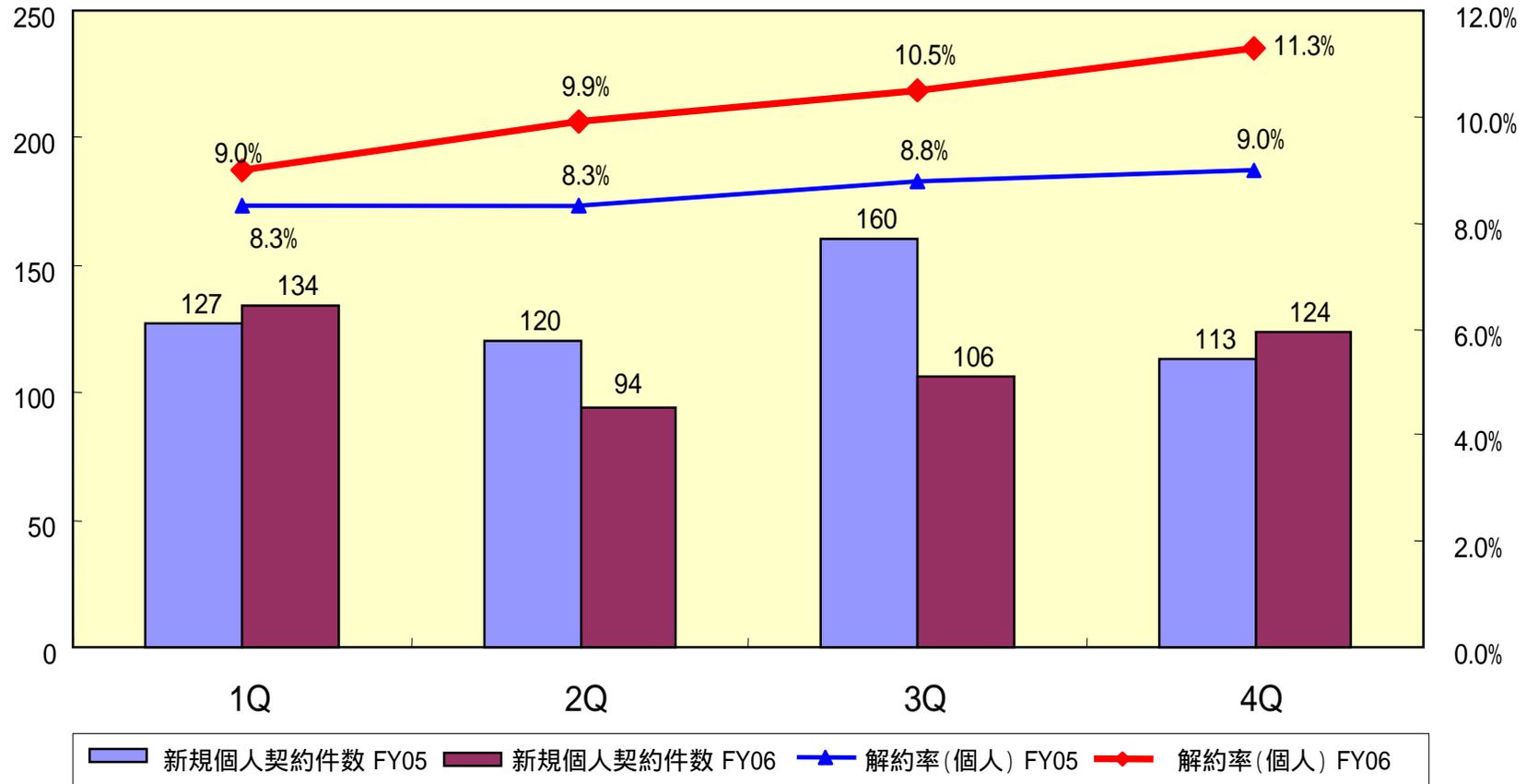
スカイパーフェクトTV その他指標

現預金+有価証券の期末残高:
 42,674百万円 (前期末比 2,353百万円減少)
 総資金残高(現金及び現金同等物の期末残高
 +運用目的投資有価証券の期末残高):
 60,164百万円(前期末比 2,882百万円減少)

* 2006年度については各社の継続開示内容を踏襲しています。

2006年度 加入・解約状況

(千件)

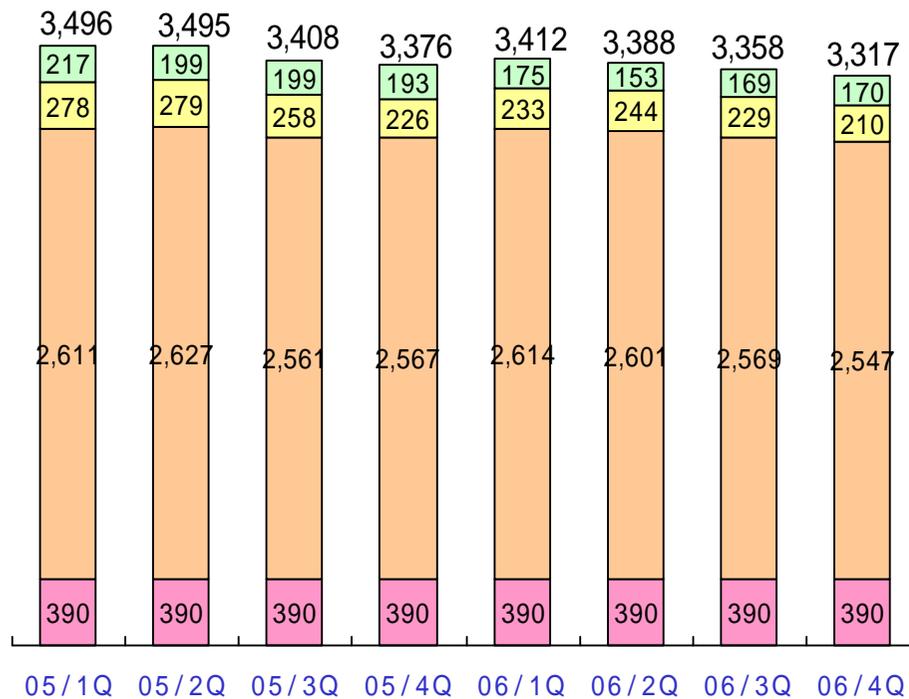


ARPU (スカパー！ + e2 by スカパー！)



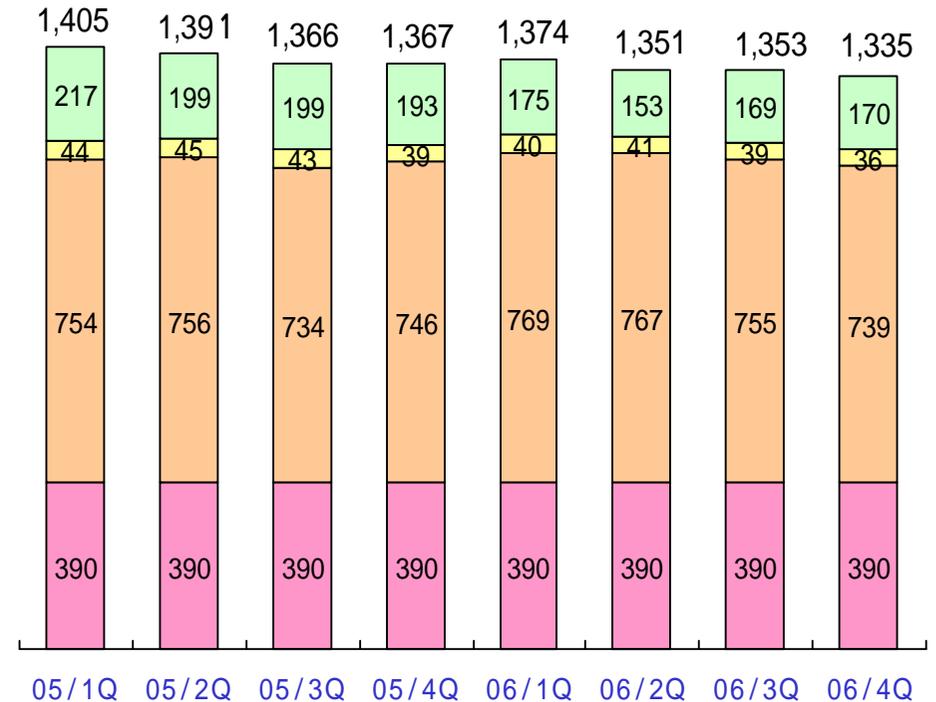
視聴料ベース

(単位:円)



業務手数料ベース

(単位:円)

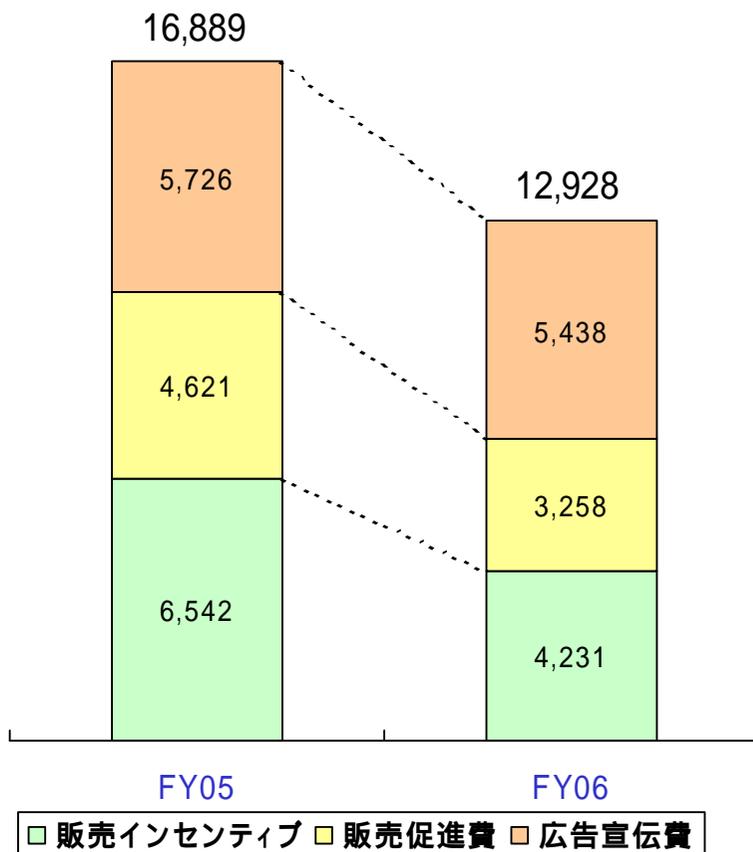


SAC (スカパー！ + e2 by スカパー！)



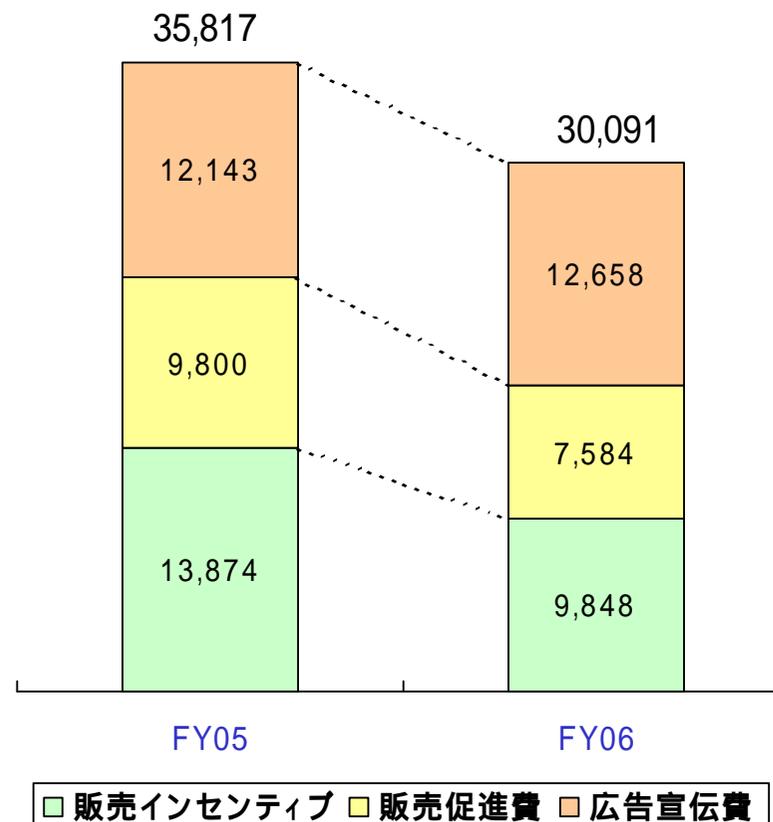
SAC総額

(単位:百万円)



SAC単価

(単位:円)



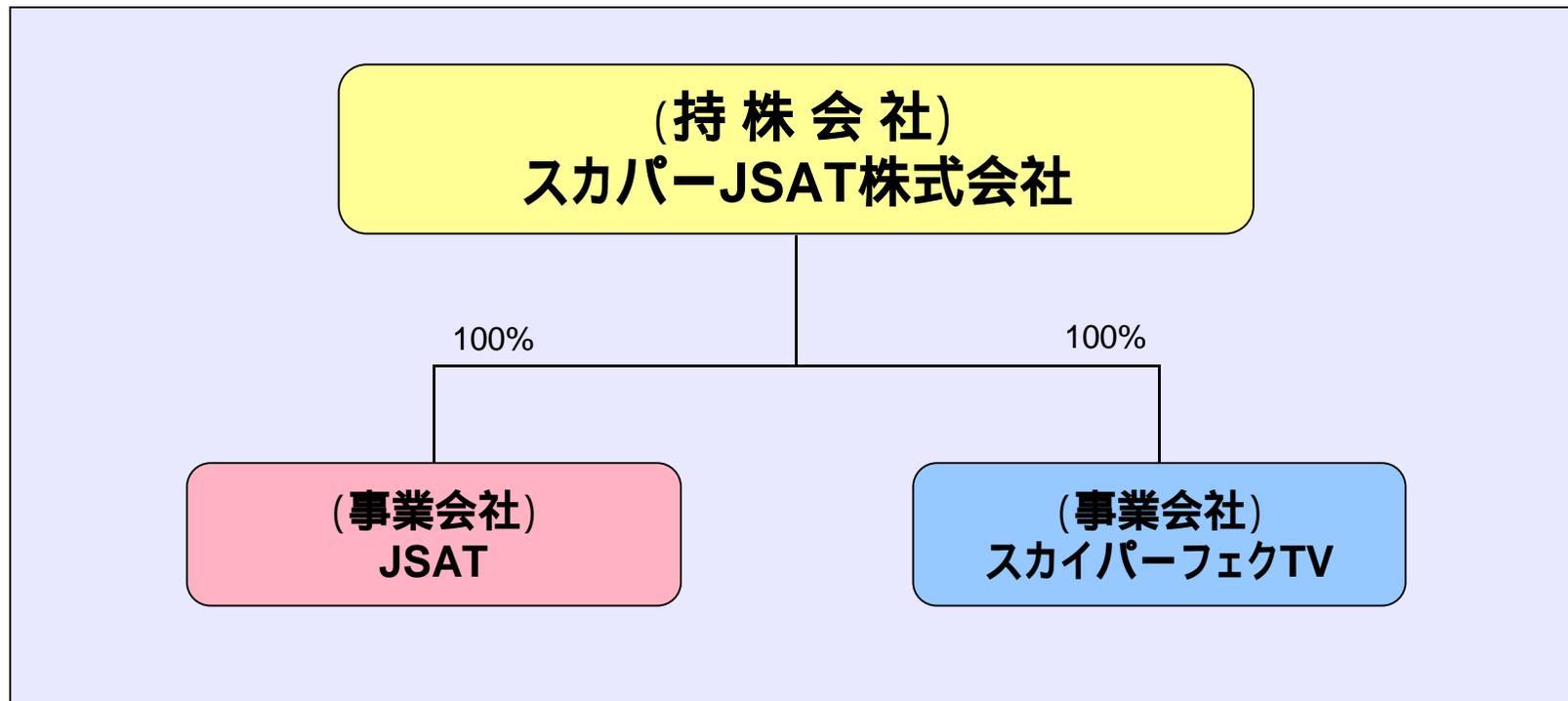
*1 スカパー！単体にスカパー・マーケティング分を加えています。

*2 広告宣伝費は、企業広報費を除いています。

今後のグループ事業展開

持株会社スカパーJSATの設立と機能

企画戦略機能、グループ管理機能等を担う
指名、報酬、情報開示、投資委員会を設置



グループ会社の再編



スカパー・マーケティングのスカイパーフェクTVへの事業
譲渡と解散

直販・レンタル加入獲得の効率化と強化

CS110度放送事業者3社の合併
e2 by スカパー！のHD化促進

スカパー・モバイルのBtoC事業をスカイパーフェクTV本体
に譲渡

モバイル事業の新たな展開へ

サムライティービーの事業をペイ・パー・ビュー・ジャパンに
委託

プロレス/格闘技の事業展開の効率化

2007年度 業績見通し



(単位:百万円)

2007年度 見通し	スカパーJSAT 連結		スカパーJSAT 単体	
	中間期	通期	中間期	通期
営業収益	60,000	125,000	900	5,500
営業利益	2,000	5,500	50	3,900
経常利益	2,000	5,000	100	3,800
当期純利益	1,500	5,000	100	3,800
1株当たり配当(円)	-	-	-	1,000/株

* 連結納税を採用した前提での税金計算及び税効果は、考慮していません。

<参考: スカイパーフェクトTV加入・解約見通し>

	2006年度実績	2007年度見通し
新規個人契約件数(千件)	457	600
個人解約率(%)	10.2%	9.2%
個人契約純増数(千件)	93	252
個人契約件数累計(千件)	3,628	3,880
総登録件数累計(千件)	4,231	4,483

内訳 →

	25-27万件
	28-30万件
	6-8万件 (有線系全体 7-9万件)

2007年度 コンテンツラインナップ

映画

洋画・邦画の話題作を
月間1,000本以上放送

- ・GW大作映画特集
- ・ますます元気な日本映画
- ・ハリウッドメジャー作目白押し
- ・ハイビジョンコンテンツも充実

スポーツ

- ・サッカー Jリーグ/欧州(3大リーグ)
- ・野球 プロ野球/MLB(イチロー・松井・松坂)
- ・ゴルフ PGA/LPGA + 国内トーナメント
- ・モーター F1/MotoGP全戦生中継 WRC
- ・格闘技 PRIDE/WWE など

音楽

夏フェス完全版
4大フェス集結

TALKS&LIVES
豪華アーティストによる
スカパー！だけのスペシャルトークも

アニメ

夏休み・春休み
アニメ祭り

話題の新作から
懐かしのアニメまで
誰もが楽しめる幅広いラインナップ

ドラマ

国内・海外・韓流

LOST、24など
国内外の話題ドラマが集結
韓流スター達が競演

2007年度 広告展開について

< ビジョン >

コンテンツを重視した宣伝展開

**e2 by スカパー！の手軽さを
わかりやすく訴求**

e2 by スカパー！チューナー内蔵
のデジタルテレビ普及と連動した
展開

(いつでもご家庭で多チャンネルラ
イフがスタート可能)

< 具体的展開 >

テレビCM

毎月、注目コンテンツの
「祭り」企画

Time/Spotの複合展開

新聞・雑誌

新聞はラジオ・テレビ面を中心
とした「カラー紙面」での展開
雑誌はコアターゲットを重視

エリア対策の強化

(Jリーグ、プロ野球を中心)

番組提供やスタジアムビジョン
の活用

スタジアムへの交通機関での集中展開
等



お客様サービスの拡充と解約防止

スカパー！ホームページのリニューアル

各サービスのポータルとなる総合トップの新設、「スカパー！動画」でのプロモーション動画配信、番組リコメンドサービス「My番組ガイド」など番組ナビゲーション機能を強化

引越しサポートダイヤル

引越しに伴うアンテナ移設を希望する加入者(スカパー！とe2 by スカパー！)に取り付け工事標準費用相当(¥9,450)の視聴クーポンを提供



フレンドリーコール

登録後3ヶ月経過した加入者に対して、サービス全般に関する疑問点の解消を目的に実施中

スカパー！プレミアリザーブシート

加入者に話題作の試写会やイベントに抽選でご招待



加入者問合せ用eメール対応窓口の充実

スカパー！ 2007年度の展開



**Jリーグ等を軸にしたエリアプロモーション強化等により
新規個人契約25～27万件獲得**

Jリーグやプロ野球を軸にしたエリアプロモーション強化

アンテナ取り付け0円キャンペーンの継続

対面販売の強化

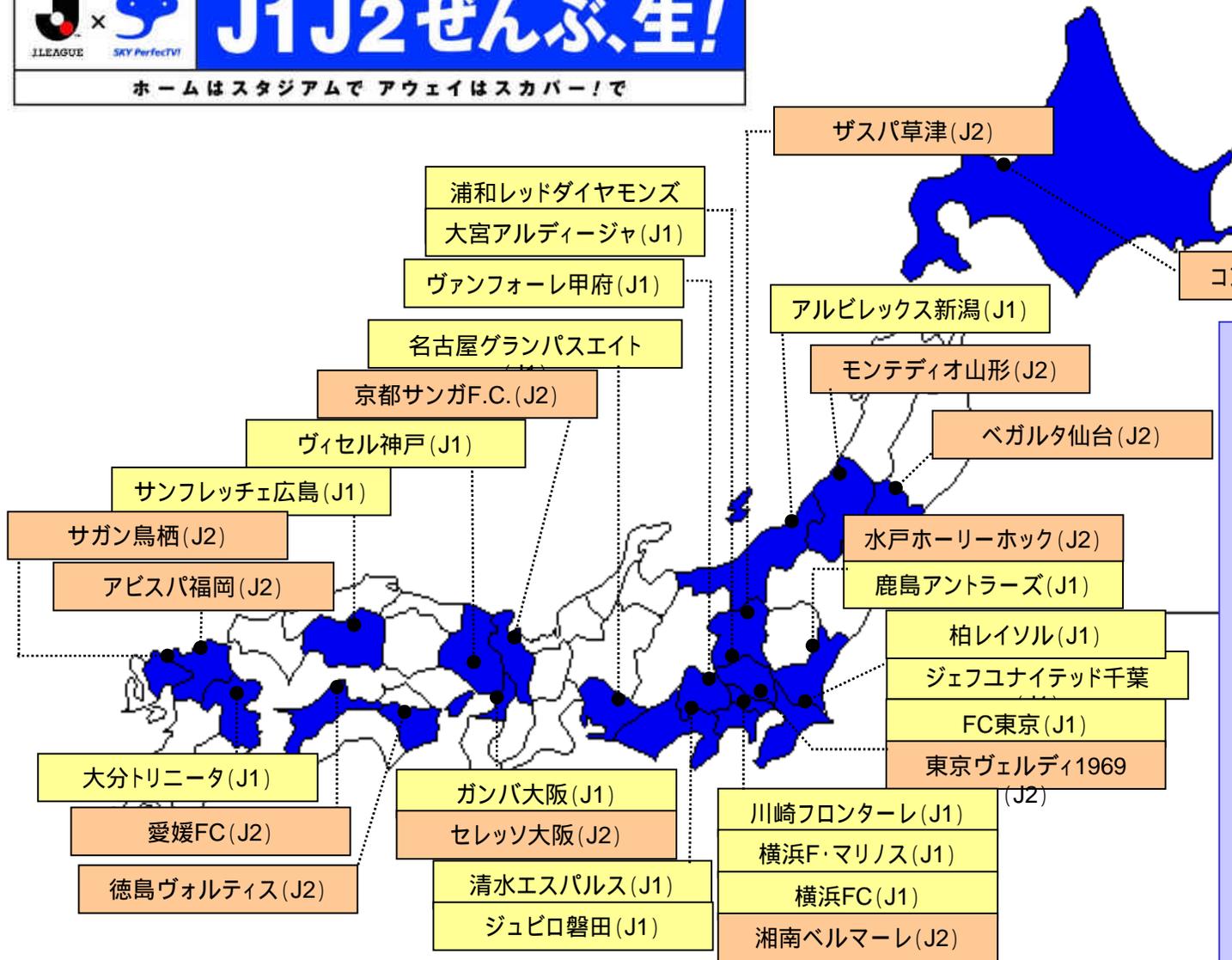
スカパー・マーケティングの一体化による直販、レンタル
の強化

DVRの普及促進

Jリーグエリア展開について




J1J2ぜんぶ生!
 ホームはスタジアムで アウェイはスカパー!で



クラブとの連携、
 全試合生中継、
 スカパー!ならではの
 放送内容

シーズン前半戦は
 全試合会場に「スカ
 パー販促ブース」を
 設置

WEBを利用した告知
 キャンペーン活動
 ・JリーグクラブHP
 ・「ドガッチ」HP

地上波ローカル局、
 地方紙、スタジアム
 交通網を利用した
 広告宣伝

対面販売の強化



家電量販店の店頭等で専用ブースを展開
スカパー！、e2 by スカパー！両サービスのきめ細かい説明と
加入手続きのサポート

現在、トライアル展開を実施中。効果検証のうえ、拡大展開へ。



展開イメージ

**デジタルテレビ普及拡大やハイビジョン訴求等により
新規個人契約28～30万件獲得**

対応デジタルテレビ等の普及は更に拡大

ハイビジョンでの店頭訴求の強化

(2007年度中にJスポーツ等のハイビジョン追加予定)

アンテナ未対応顧客へのサポート

(アンテナ+取付工事を廉価で提供するプログラムを用意)

**サービス名称変更を契機とした
広告宣伝の強化**

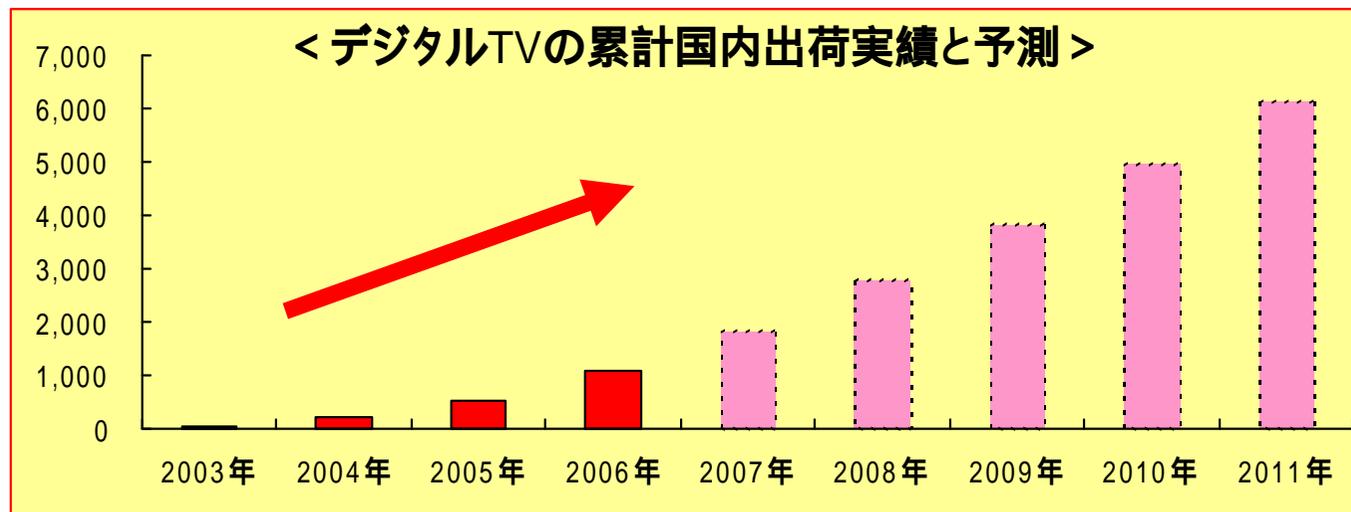
メーカータイアップの推進



e2 by スカパー！の伸び

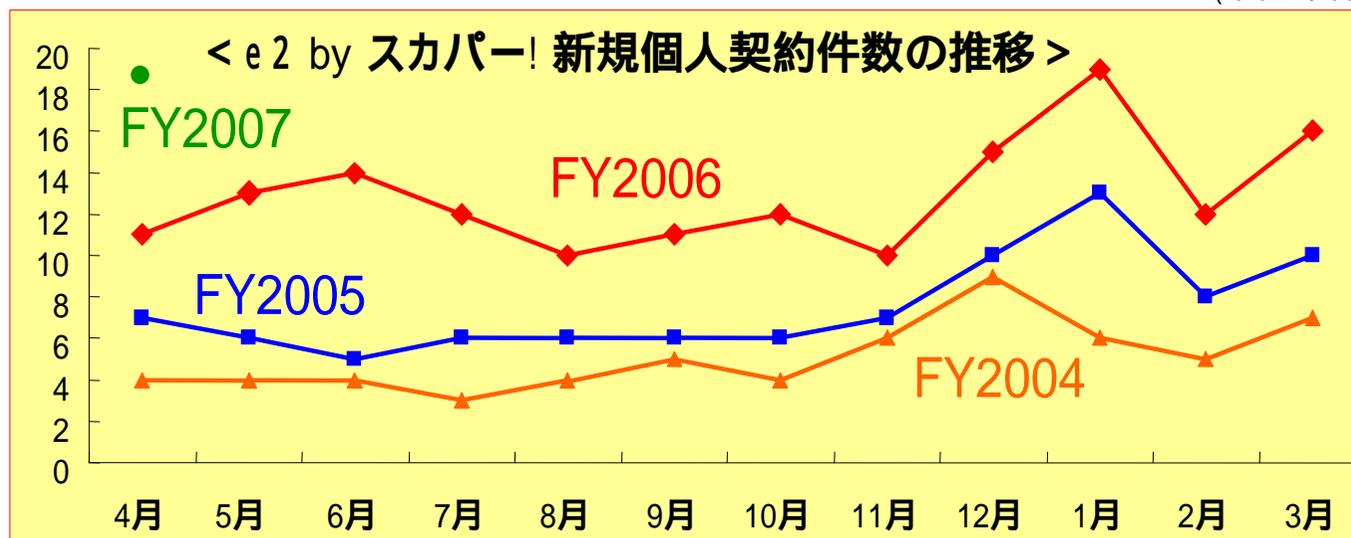


(単位:万台)



(JEITA実績・予測)

(単位:千件)



スカパー！光 2007年度の展開



戸建て販売の本格推進等により新規個人契約6～8万件獲得

早期に5,000件/月の体制へ

マンションでの優位性の維持と加入率向上
(大型物件等)

戸建て販売の本格推進

今後、配信帯域を拡大し、2008年度以降のHD化
等に対応

チャンネルリース等の拡大(岐阜県恵那市等)

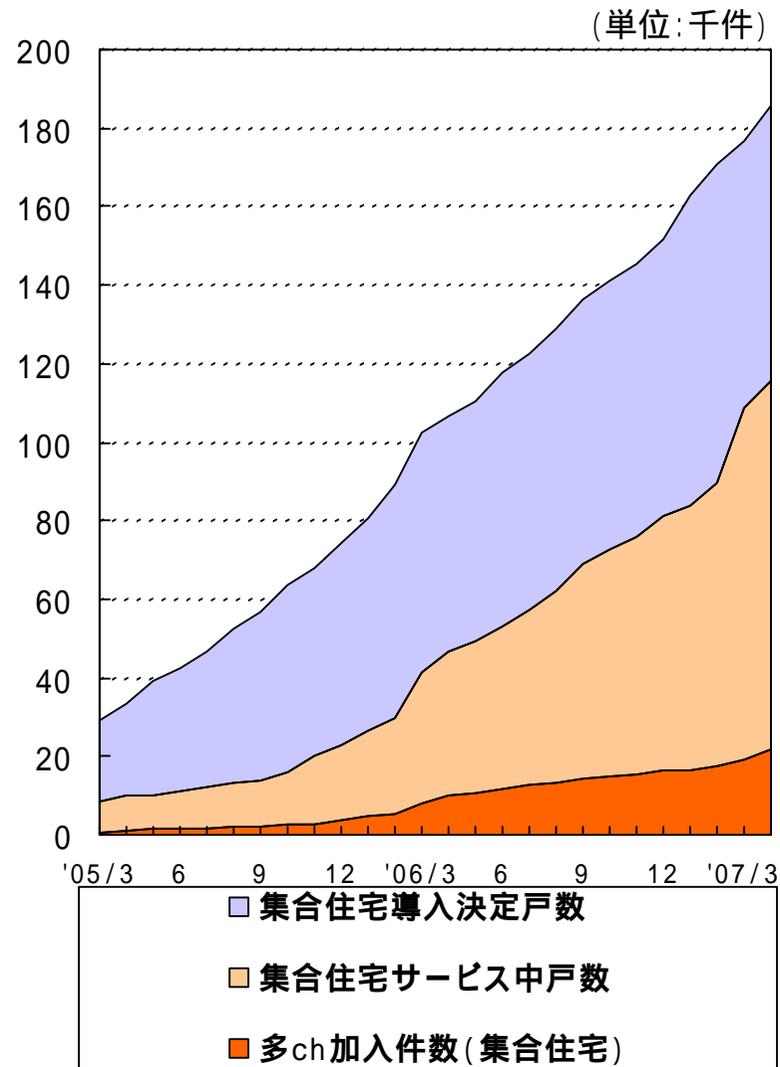
スカパー！光 ～マンションタイプ



<マンションタイプの件数推移>

導入、加入ともほぼ順調に推移。特に3月、4月の引越し期に増加(エリア内新築分譲マンションシェア約60%)

東京ミッドタウンのサービスアパートメント全410戸(820件)に多チャンネルサービス導入



スカパー！光 ～ホームタイプ

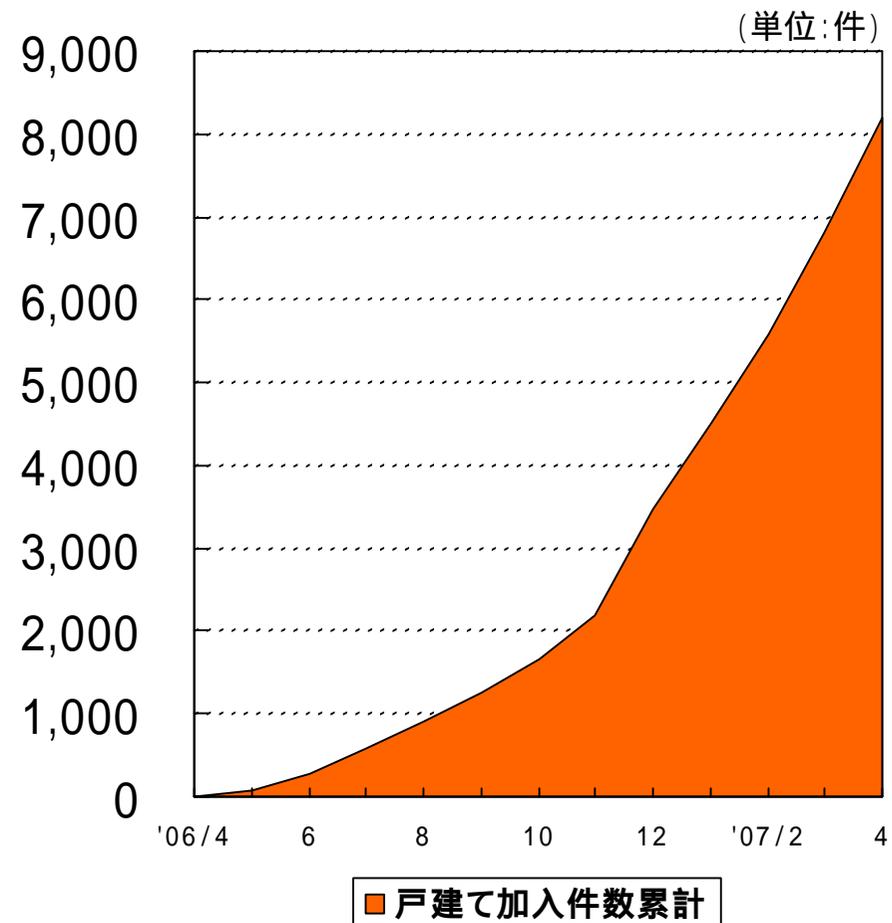


<ホームタイプの加入件数推移>

NTTのFLETS光加入拡大に
合わせマーケット拡大

NTT、量販店、訪問販売部隊
を中心に本格的に販促展開

NTT東日本販路にて4～6月に
スカパー！光の回線工事費無
料キャンペーン実施



IP/モバイルの展開

< IP放送 >

オンデマンドTV、アイキャストとの資本提携、
業務提携を強化し、2007年4月1日より
「オンデマンドTV」チャンネルサービスの名称を
「スカパー！SELECTチャンネルサービス」に



2007年4月末現在の加入件数は約6.3万人

ペイ・パー・ビュー・ジャパンが、PC向けVODサービスShowTimeに作品供給

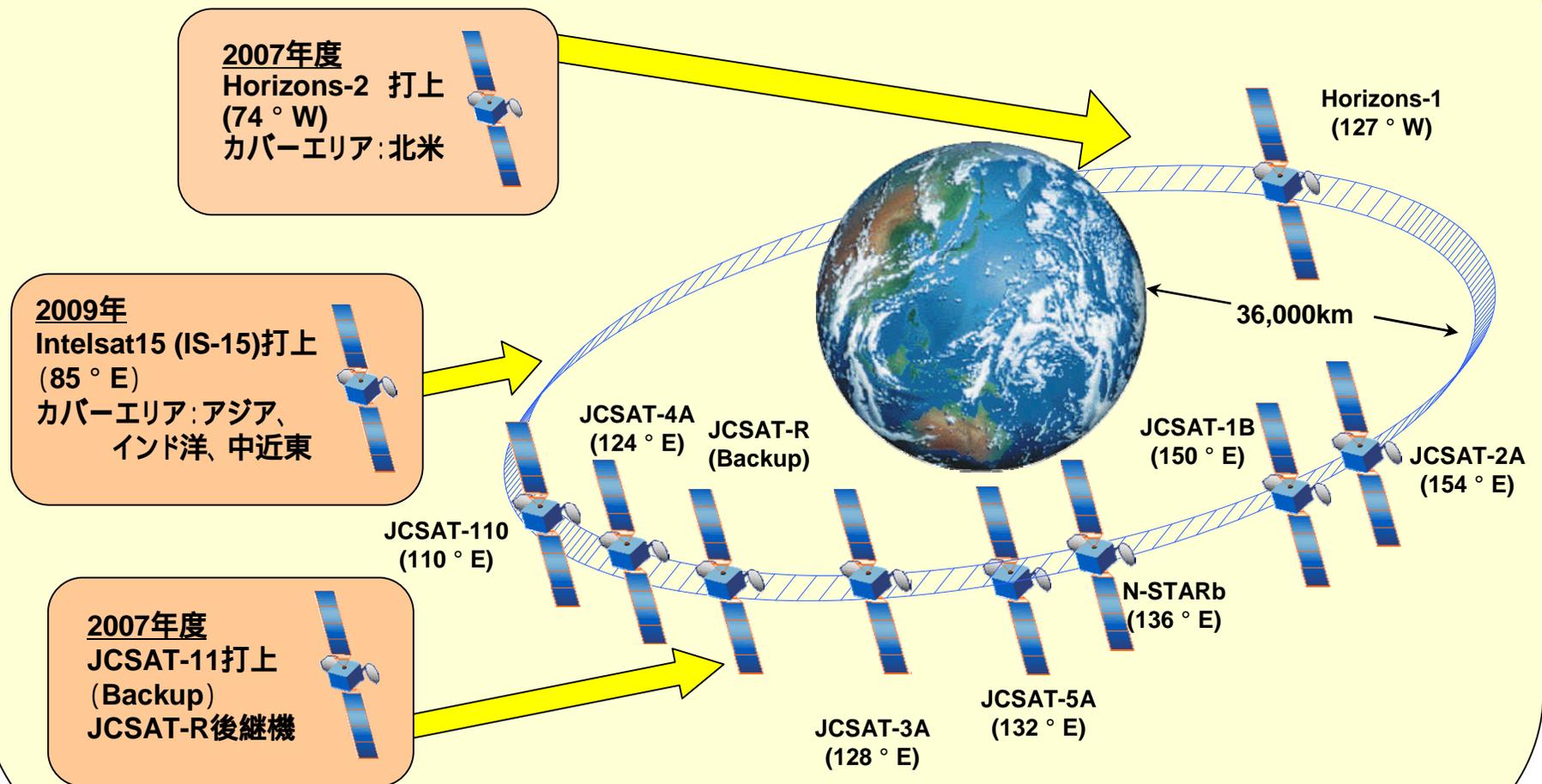
< モバイル >

スカパー・モバイルが行っていたBtoCサービスを、スカパーフェクTVが引き
継いで実施

子会社化したeTENが、モバイル端末向けに気象情報を配信
(100～200円/月)

衛星のフリート計画

今後の衛星打上計画



衛星優位領域の追求(1)

既存収益基盤に加え、衛星優位領域の新規開拓 により収益向上を図る

新技術
の導入

衛星優位領域

- HD放送
 - スカパー！のHDチャンネル
- 移動体/モバイルユビキタス
 - 陸・海・空域移動体ビジネス
 - WiMAX、携帯端末と連動したビジネス
- 公共
 - 政府公共機関
 - 地方自治体
 - デジタルデバインド
 - 防災
- グローバル
 - INTELSATグループとの戦略的提携の拡大(Horizons、IOR)
 - アジア市場での拡販とM&A

既存収益基盤の維持・拡大

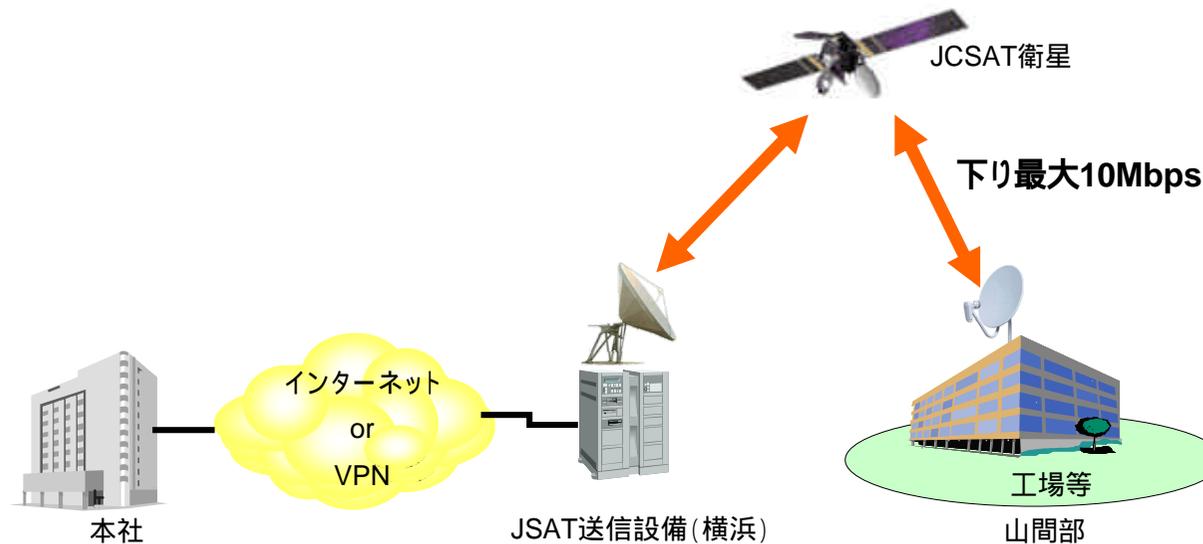
- テレポートサービスによる顧客サービスの充実
- NTTグループとの協業による拡販

衛星優位領域の追求(2)

～ デジタルデバイド解消への取り組み～

衛星ブロードバンドサービス「SPACE IP」商用開始
日本国内のどこにおいても双方向の高速インターネット接続が可能な法人向けサービス

衛星通信の特徴である広域性、機動性、耐災害性など
の特徴を活かし、衛星を利用したベストエフォート型
ブロードバンドサービスを安価で提供



衛星優位領域の追求(3)

Horizons プロジェクトについて ～ 北米における、JSAT・Intelsat社による協同衛星事業の拡大～

目的:

Horizons-2は両社による2機目の共同衛星。
西経74度にて北米における Kuバンド衛星の
通信事業の拡大を目指す。

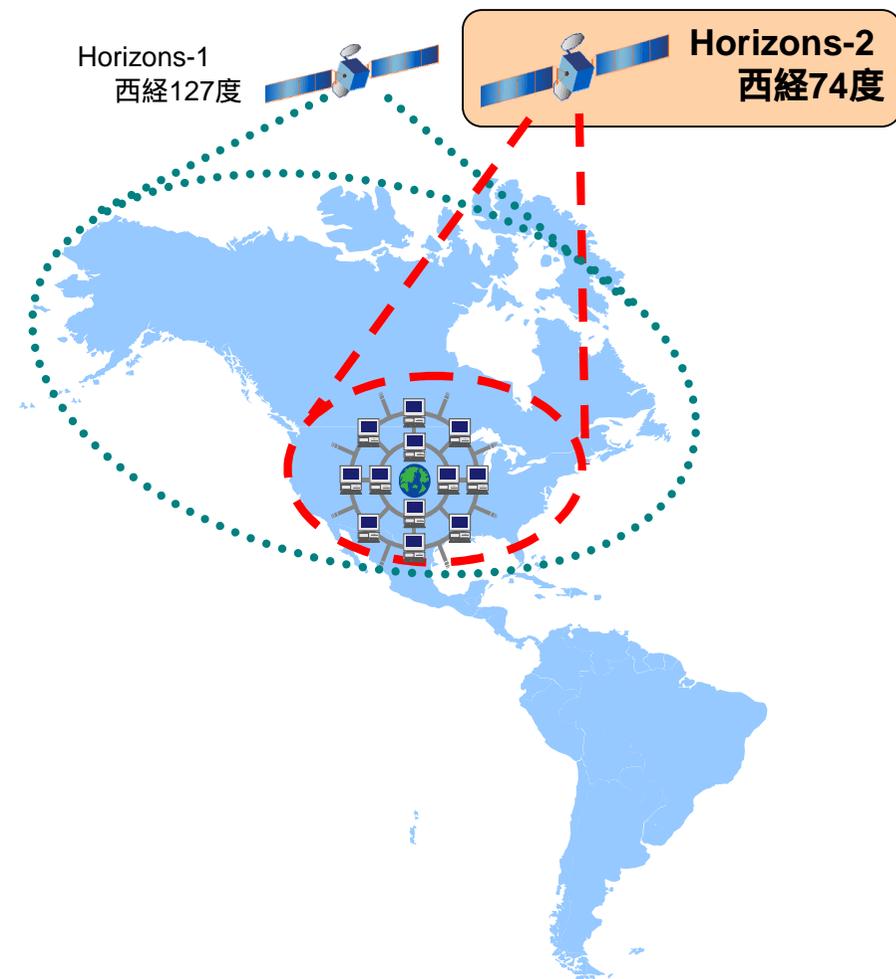
スケジュール:

2005年7月
Horizons Satellite Holdings LLC
Horizons-2 Satellite LLC 設立

2007年
衛星打ち上げ、サービス開始(予定)

市場の動向:

～ 北米のKuバンドの需要堅調 ～
企業間におけるVSATを利用したデータ通信需要
HDTV (ハイビジョン)等の映像伝送需要
SNGからの映像伝送需要



【参考】中期経営計画の目標

FY2011統合グループ営業収益:	<u>2,400億円</u>
FY2011統合グループ経常利益:	<u>380億円</u>
FY2011統合グループEBITDA:	<u>500億円</u>
FY2011末時点で加入件数合計:	<u>800万件</u> *1

サービス	目標加入件数	FY2006末加入件数
スカパー!	360万件	320万件
e2 by スカパー!	180万件	36万件
スカパー!光	80万件	3万件
IP、モバイル等	130万件	

*1 総登録件数ベース(総登録件数:個人契約件数に、有料視聴契約前の無料視聴期間中の数(仮登録は「スカパー!」のみ)、法人契約件数(代理店展示用含む)、技術開発用登録数などを加えた件数)

*2 個人契約件数ベース(個人契約数:有料視聴契約(個人本登録)を結び、視聴料の支払いが発生している加入件数)

【参考】JSAT四半期業績サマリー



四半期業績サマリー

(単位:百万円)	2006年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
営業収益	9,109	9,434	9,366	10,859
営業利益	3,217	3,085	2,427	1,869
経常利益	3,246	3,310	2,338	1,711
四半期純利益	1,932	1,920	1,377	1,029
営業CF	8,727	4,073	5,842	1,427
EPS(円)	5,446.40	5,411.83	3,881.90	2,324.17
EBITDA	5,345	6,069	5,175	4,304
EBITDAマージン	58.7%	64.3%	55.3%	39.6%

サービス別四半期業績サマリー

(単位:百万円)	2006年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
ネットワーク関連サービス	2,503	2,884	3,003	4,130
映像関連サービス	6,501	6,438	6,224	6,595
その他	104	111	138	133
営業収益計	9,109	9,434	9,366	10,859

【参考】スカイパーフェクTV四半期業績サマリー



四半期業績サマリー

(単位:百万円)	2006年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
営業収益	20,985	21,547	21,470	21,418
営業利益	53	1,202	627	542
経常利益	89	1,262	919	489
四半期純利益	14	1,302	1,287	3,887
EBITDA	1,377	2,724	2,191	2,903
EBITDAマージン	6.6%	12.6%	10.2%	13.6%

サービス別四半期業績サマリー

(単位:百万円)	2006年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
顧客管理業務及びデジタル衛星放送普及促進業務	13,134	13,110	12,999	12,948
放送番組創出関連業務	2,233	2,314	2,276	2,382
その他プラットフォーム関連事業	5,617	6,123	6,194	6,088
営業収益計	20,985	21,547	21,470	21,418

IR情報等に関するお問い合わせは
下記担当部までお願い致します。

スカパーJSAT株式会社 業務管理本部 広報IR部

本説明資料に記載されている当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社グループ独自の予想に基づくものです。当社グループを取り巻く市場環境は、技術革新や顧客ニーズの変化、経済の状況、その他の変動要因など、極めて変化が激しい状況にあります。したがって、実際の結果は本説明資料の記載と異なる可能性がありますので、これら業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。

(注)本説明資料の全部もしくは一部を無断で複製・転載することはご遠慮下さいますようお願い致します。